

# [第 148 回藤樹人間学塾のご案内]

皆さま

令和 6年 3月



主 催 NPO法人高島藤樹会

- 日 時 令和 6 年 4 月 6 日 (土) 15時～17 時
- 場 所 高島市安曇川公民館(高島市安曇川町田中89) ☎0740-32-0003
- テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」  
テキスト 中江藤樹著・加藤盛一校註『鑑草』(岩波書店)p.315～完(用意します)  
塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)

2024 年 3 月 2 日(土)、近江聖人中江藤樹記念館  
で第 147 回藤樹人間学塾を開きました。今回は京  
都、大津からの参加者を入れて 7 名でした。

■ 中江藤樹著『鑑草』の余録 陰鷲の(1)～(5)

■ あらすじ

(1)人間の願いはつまるところ、功名、富、貴(地位)、  
長寿、子孫の 5 つに極まる。ただこの 5 つは上天の  
政事である。与奪の権は天にあって、得失の機は人の  
一心にある。自反慎独を行って仁がある者にはこれ  
を与えられ、仁に違うものからはこれを奪われる。(2)以下略。



■ 配布資料

(1)「まなざし 466 号」、(2)藤樹の書簡「自反慎独」、(3)田口佳史「君子は諸を己に求む、小人は諸を人に求む」(致知)、(4)「無財の七施」、(5)「陰徳ある者は必ず陽報あり」、(6)森信三「創造の形而上学…宇宙における人間の位置」。

■ 今日のポイント

- ・ 人間の究極の願い 5 つ(功名、富、貴、長寿、子孫)は大宇宙が差配するので、自反慎独して仁(思いやりの心)を持てば、願いは叶えられる。藤樹は「自反慎独の工夫は、心に生じる固さや頑なさを溶解させて、いかにも広々として天地万物を容れてつかえる事の無い心の本体を失わない様にする事が肝要である」と述べている。
- ・ 善行とは人知れず行なうもの。人知れず善行を行い徳を積む者には必ず誰の目にも明らかかなよい報いがあり、はっきりとした名誉があるもの。
- ・ 私たち人間は、大宇宙によって造られた存在であるが、それは私たちがその大宇宙の分身であるということだ。人間の命には限界がある。各地で戦争が起こっているのは人間の理性にも限界があると感じる。そのなかでも、私たちは大宇宙から頂いたこのいのちを自反して恩返しを始めなければならない。そのことこそ「いのちの自証」なのである(森信三)。

■ フリートーキング

- ・ 「陰鷲という言葉は初めて聞いたが、以前から学んでいる利他の心が根本だと思った」
- ・ 「悪いことは自分のせい、良いことは他人のおかげと思っている」→それは田口佳史氏の「君子は諸を己に求む…」に通じている。すばらしい。

他、いろいろなご意見をいただきました。

学ぶは愉し！人間学に関心のある方はどうぞご参加ください。参加費は無料です。